

2016年(第47回大会)

18歳選挙権と教育・民主主義、東電・福島原発事故から5年の今を考える

全国民主主義教育研究会 第47回 大会

東京・お茶ノ水 中央大学駿河台記念館

7月の参院選挙で高校生も投票します。新しい主権者として主体的な判断で選挙に参加してほしいものです。今、「憲法改正」をめざす内閣の横暴に異議を唱え、授業で立憲主義と民主主義の実践が求められています。

東電・福島原発事故から5年、未だ収束できないなかで、「3・11」を忘れず「教育のなかで民主主義をどう実現していくのか」を課題として今年の大会を企画しました。参加者のみなさんと語りあえることを楽しみにしています。

日 時 7月29日(金) 30日(土) 31日(日)

場 所 中央大学 駿河台記念館

§ 第1日目

特別報告

「福島原発事故と生業訴訟」

「生業を返せ、地域を返せ！福島原発事故訴弁護団」事務局長

弁護士 **馬奈木 巖太郎 氏**

映画

フクシマに向き合う青春 「種まきうさぎ」

§ 第2日目

分科会 (詳細は裏面))

§ 第3日目

記念講演

「日本国憲法と民主主義・平和・人権」

法学館憲法研究所所長 伊藤塾 塾長

弁護士 **伊藤 真 氏**

■大会参加費

全日程 5000 円 (学生 3000 円)

■参加申し込み

当日、会場でお支払いください。

裏面の参加申し込み用紙に必要事項を記入してお送りください。

日 程

日 \ 時	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7/29日 (金)				受付		基調報告・ 特別報告		映画			懇親会		
7/30日 (土)		分科会		昼食		分科会				全国 委員会			
7/31日 (日)	会員 総会	記念講演		昼食		フィールドワーク							

☆分科会 (7月30日)

第1分科会 民主主義思想と自主活動

政権の側から、「公共性の崩壊」が声高に叫ばれています。他方で、「国益」が前面に躍り出て、改憲の動きが活発化されています。折しも、18歳選挙権がこの夏の参院選から実施されます。青年たちを、単なる有権者として、個が蔑ろにされ、一人ひとりの顔が見えない「公共づくり」の先兵にさせてはならないでしょう。憲法の普遍的理念や人権の尊重に基づいて連帯していく関係づくりをめざし議論を深めていきたいと思います。

- レポート ① 18歳選挙権と総選挙 (北海道・高校)
 ② 「日の丸・君が代」の強制に反対する私の思い (東京・高校)
 ③ 「私の道徳教育論」 (神奈川・大学)

第2分科会 憲法と平和

集団的自衛権、安保法制施行、緊急事態条項、「駆けつけ警護」、沖縄の基地問題、ブラック労働、夫婦同姓などの女性差別、マイナンバー制度、ヘイトスピーチ、ニュースキャスターの降板。思いつくまま書くだけで憲法や平和を取り巻く課題が山積していることを痛感します。

18歳選挙権も実施の結果をふまえたなかで探求してみたいものです。さまざまな現実を掘り下げて、明るい未来につなげていく分科会にしていきたいと思います。

- レポート ① 「高校生だから知りたい！考えたい安保法制」 (神奈川・高校)
 ② 「僕らの主権者教育をやろう」 (北海道・高校)
 ③ 「総合学習『平和』☆現地学習としての修学旅行」 (東京・高校)
 ④ 「中学校で憲法・平和学習にどうとりくんだか」 (東京・中学)

第3分科会 学力と授業づくり

授業をどうつくったらよいか。さらに、社会を見抜く見方と判断をする力を育てるにはどうしたらよいか、難しい問題です。本分科会では、「学力」を「授業づくり」と関連させて議論します。学力は多義的な言葉ゆえ、授業づくりも多様になります。「学力低下論」の対策として新学習指導要領が発表され、これに基づく「新しい社会科の授業」が提言されていくはずですが、「政府の側」の授業づくりに対抗できる、全民研の授業づくりと一緒に考えていきます。現在、学力に焦点をあてた単行本を刊行したいと思っています。

- レポート ① シチズンシップ教育と授業 (東京・中学)
 ② アベノミクスと公共工事 (東京・高校)
 ③ 『新科目「公共」とシチズンシップ教育』 (京都・高校)
 ④ 2050年の世界を創る～COP21/パリ協定を踏まえて (香川・高校)

◆大会場所・交通案内

会場 中央大学駿河台記念館

郵便番号 101-8324 東京都千代田区駿河台 3-11-5

Tel 03-3292-3111

交通案内 JR中央・総武線「お茶の水駅」(聖橋口) 徒歩3分

東京メトロ千代田線「新お茶ノ水駅」(B1出口) 徒歩3分

◆宿泊対応はしていません。各自でお願いします。

◆7月29日(金) 全体会終了後「懇親会」を企画しています。場所:会館内レストラン
費用4500円。希望者は、申し込み用紙の参加欄に○を記入してください。

◆7月31日(日)のフィールドワーク:希望者は参加用紙に○を記入してください。

☆参加申し込み

資料作成の都合上、参加申込書に必要事項を記入して お送りください。

メールで 受付ます。qqy222x9@happytown.ocn.ne.jp

■参加申込み〆切 7月15日(金)

全民研第47回大会参加申込書

2016年 月 日

氏名		男・女		会員・未会員	
住所 〒					
Tel					
職種 教員(小・中・高・大) 学生・院生 その他		参加回数(初・2～4回・5回以上)			
		下の参加欄(右欄)に○を記入してください			
勤務先		7/29(金) 基調報告・特別報告			
		7/30(土) 分科会			
Tel					
参加希望 分科会() ()		7/31(日) 会員総会 記念講演			
		フィールドワークに 参加する方は右欄に○ をしてください			
7月29日(土)の懇親会		参加 不参加			

大会紹介

特別報告 (7月29日午後2時～4時)

弁護士 馬奈木 巖太郎氏

1975年、福岡県生まれ。東京合同法律事務所所属。全国公害弁護団連絡会事務局次長。

生業訴訟: 福島原発事故で生活を破壊された住民が全国規模で起こした裁判。国を被告として責任を問う「公害訴訟」で原告約4000人。馬奈木弁護士は、この裁判の事務局長として奮闘中。「福島原発事故」の真実に迫ります。



映画上映 (7月29日午後4時～5時30分)

種まきうさぎ... ドキュメンタリー映画 フクシマに向き合う青春

あなたも平和の種まき人になりませんか。それは、福島の高校生の朗読グループから始まった。2011年、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故の実相を知ってもらおうと、福島の高校生の朗読グループ『たねまきうさぎ』がつくられた。彼女たちは、全国各地の高校生や若者と交流し核実験や原発事故の被害者とも出会いながら、学び、つながり、支えあう。核の時代に生きる若者たちのいまを描く。上映時間87分。

監督: 森 康行 企画: 山下正寿 齋藤 毅 (齋藤氏は全民研福島全国委員)

ナレーション: 大竹しのぶ 制作・著作: 種まきうさぎ制作委員会

記念講演 (7月31日午前10時～12時)

弁護士 伊藤 真 氏



1958年東京生まれ。1981年大学在学中に司法試験合格。法学館憲法研究所所長「伊藤塾」塾長。日弁連憲法問題対策本部副本部長。一票の格差是正を求める「一人一票実現国民会議」発起人として、議員定数不均衡問題にとりくむ。日本国憲法の理念を解きあかすなかで「改憲論」に対し、武力に頼らない平和主義を主張している。近著に憲法の絵本「あなたこそたからもの」など。他著書多数。

フィールドワーク (7月31日午後1時30分～4時30分)

登戸平和教育研究所

日時 7月31日(日) 午後 正式名 明治大学平和教育登戸研究所資料館

住所 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

交通 地下鉄東京メトロ千代田線「新お茶ノ水」→代々木上原→小田急線生田駅下車徒歩15分(現地への道案内をします)

紹介 登戸研究所は、明治大学生田校舎内にあり、戦前、旧日本軍によって開設された研究所です。諜報・謀略・宣伝(人心の誘導)のため秘密戦略兵器が開発された場所で、紙風船爆弾が展示されています。当日は現地で資料館の方から説明していただきます。参加を希望する方は、申し込み用紙に○をつけてください。